

第66回 全国学校新聞指導者研修会要項

- <主 催> 全国高等学校新聞教育研究会
高等学校文化連盟全国新聞専門部会
- <後 援> 文部科学省（予定）
一般社団法人日本新聞協会（申請中）
宮城県教育委員会
宮城県NIE委員会

10月8日（土）から2日間、宮城県仙台市の東京エレクトロンホール宮城（宮城県民会館）で第66回全国学校新聞指導者研修会を開催いたします。今年のメインテーマは「伝えることを考える～主権者意識を育む学校新聞～」です。

この研修会は、全国高等学校新聞教育研究会、高等学校文化連盟全国新聞専門部会の主催で、高等学校における新聞教育の普及と学校新聞の活性化を目的に、毎年秋に開催しております。また、この研修会は、次年度、全国高等学校総合文化祭開催地でのプレ大会としての性格も、あわせ持っております。

今回の研修会では、情報が氾濫する現代社会の中で、身の回りのできごとに無関心な高校生が増えている現実を踏まえ、校内に風を巻き起こし学校の動きをつくる、学校新聞の「スクールジャーナリズム性」に焦点を当てました。学校新聞のこの働きは、民主社会を育む力とも言えます。また、18歳選挙権導入による主権者教育としての学校新聞の役割についても考えて行きます。NIEの活動も視野に入れながら、学校新聞及び新聞作りについて、幅広い観点から論議を深めたいと考えております。

テーマを踏まえ、記念講演の講師として、東日本大震災直後の困難な状況の中、手書き新聞を発行することで、人々に伝えることの原点を示した石巻日日新聞の武内宏之氏をお迎えし、伝えることの意味を考えます。

実践報告は、福島県立相馬高校新聞部顧問として震災直後に部員を励まし、被災に伴うさまざまな事実を伝える学校新聞を発行するなど、新聞部顧問の立場から地域の変化を見続けてきた武内義明先生と、積極的な学校新聞活動を展開する富山県・高岡第一高校の長丸和生先生に発表していただきます。また参加者から提出された実際の紙面をもとに、紙面づくりのポイントについて具体的なアドバイスを受ける「高校新聞クリニック」は、神奈川県立横須賀高校新聞部顧問で、全国総文祭の交流新聞作成の講師も務める中根淳一先生にお願いしました。

1日目の記念講演を踏まえて、2日目の技術講座では、地元、河北新報社より報道部次長の松田博英氏をお迎えし、「連載企画の立てかた」をテーマにお話いただきます。「適少社会」など、いくつもの企画記事に取り組んできたベテラン記者です。研究分科会（1）「初心者のための新聞製作」では、富山県立高岡南高校の得地聡先生に、学校新聞の製作の基本を指導していただきます。研究分科会（2）では、前日に引き続き、メインテーマをめぐって意見交換します。研究分科会（3）では、神奈川県立横須賀高校の中根淳一先生に世話人をお願いし、地元古川学園高校の佐藤泉先生の実践報告をもとに、NIEについて意見交換します。

※ なお、今回の研修会参加に際し、学校長あての文書が必要な場合は、別記の全国高等学校新聞教育研究会研修会担当（神奈川県立厚木東高校・毛利淳夫）までご連絡ください。

《参 加 要 領》

1. 参加者：学校新聞を指導する高等学校の教職員及び新聞教育に関心を持つ教職員・関係者
2. 定 員：70人程度（申し込み順に受け付けます）
3. 日 程：10月8日（土）～9日（日）の2日間 ※日程の詳細は別紙参照
4. 会 場：東京エレクトロンホール宮城（宮城県民会館）

〒980-0803 宮城県仙台市青葉区国分町3-3-7

電話：022-225-8641

5. 懇親会場：表小路

〒980-0803 宮城県仙台市青葉区国分町3-1-18

電話：022-264-6254

6. 申込方法：

申込用紙に必要事項をご記入のうえ、神奈川県立厚木東高校・毛利淳夫宛てお申し込みください。あわせて、下記の口座に参加費、懇親会費等も送金（振込料本人負担）してください。

参加費：4,000円 懇親会費：5,000円

【送金先】みずほ銀行東京営業部（001） 口座番号（普通）1003540

加入者名 全国高等学校新聞教育研究会

7. 申込締切：9月23日（金）必着

8. 宿 泊：

宿泊につきましては、ユニゾイン仙台（宿泊申込書参照）を用意しております。ご希望の方は（株）JTB東北・法人営業仙台支店（問合せTEL：022-263-6714、FAX：022-263-6694、担当者：丹野・野森）までご相談ください。

なお、申し込みは別紙宿泊申込書を使い、9月8日（木）までにFAXで申し込んだ上、電話で確認してください。

9. クリニック紙の募集：

高校新聞クリニックを希望される方は、参加申込用紙にその旨をご記入ください。先着順に4校まで受け付けます。申し込み結果、クリニック紙の送付先など、詳細はお申し込み者ご本人に、直接ご連絡いたします。

10. 交換紙コーナーの設置：

各高校の新聞を交換する場所を設けます。70部をお持ちください。単一号で部数が揃わない場合は、複数号で揃えていただいても結構です。

11. 問い合わせ先：

全国高等学校新聞教育研究会研修会担当（神奈川県立厚木東高校・毛利淳夫）

神奈川県厚木市王子1-1-1（〒243-0817）

電話046-221-6469 FAX046-222-8204

メール；amohri@pen-kanagawa.ed.jp

以 上